

食品成分による皮膚状態改善

日時：3月16日(金) 12:30～13:20

会場：B04 会場(名城大学共通講義棟南館 2F S201)

1. 食品成分による「しみ」改善のストラテジー

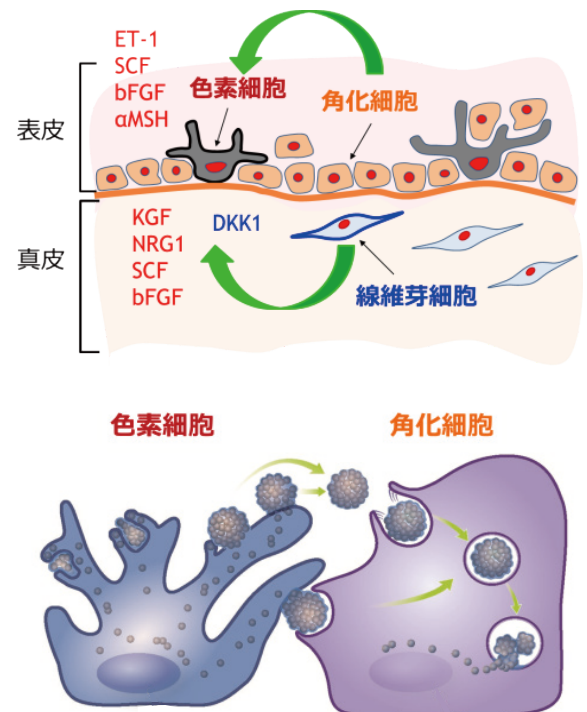
安藤 秀哉 先生

岡山理科大学 工学部 バイオ・応用化学科 教授

ビタミンCやEなど果実や植物油脂に多く含まれる抗酸化成分を摂取すると「しみ」が改善されることが知られている。赤ワインに含まれるレスベラトロールなどのポリフェノールにも同様な効果が見出されている。また、必須脂肪酸のリノール酸を塗布することで「しみ」が改善されるという報告もある。このように、種々の食品成分に「しみ」を改善する効果が認められている。メラニンは皮膚を守る大切な存在であるが、老齢になると色素細胞から過剰なメラニンが生成されて「しみ」となることがある。「しみ」を改善する有効成分の作用メカニズムとして、色素細胞がつくる過剰なメラニンの生成を抑制する、色素細胞から表皮角化細胞へのメラニンの移送を抑制する、表皮ターンオーバーを促進してメラニンを皮膚外部へ垢と一緒に排泄するなど挙げられる。最近では、オートファジーや、表皮・真皮間の情報交換など、新しいコンセプトも登場している。本発表では、これまでに報告されてきた「しみ」改善策を紹介すると共に、その研究開発の中で明らかにされてきた食品由来有効成分のメラニン生成抑制作用メカニズムについて解説する。

安藤先生略歴

1983年 名古屋大学農学部畜産学科卒業、1995年神戸大学学位取得(論文博士)博士(医学)
1983年～2011年 化粧品会社研究員、2002年～2003年米国国立保健研究所(NIH)リサーチフェロー
2007年～2011年 同志社大学スキンエイジング・アンド・フォトエイジングリサーチセンター(寄付講座)准教授
2011年～ 岡山理科大学工学部バイオ・応用化学科 教授



2. 乳酸菌 *Lactobacillus gasseri* N320 株の皮膚状態改善効果

砂田 洋介

日清食品ホールディングス株式会社 健康科学研究部

弊社では皮膚状態改善効果の高い乳酸菌 *Lactobacillus gasseri* N320 株を選抜しました。本セミナーでは N320 株の効果をヒト試験にて検証した結果を中心に紹介させていただきます。

司会： 田辺 創一 日清食品ホールディングス株式会社 健康科学研究部

